

【今週の注目疾患】

侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14週～52週に53例、2014年1～52週に66例、2015年1～42週に86例の届出があった。増加が見られる冬を迎えるに当たり、2013年14週から2015年42週に届出された205例の発生状況をまとめた。

保健所別の届出数は、千葉市42例、海匠29例、安房25例、市川22例、松戸16例、船橋市15例、印旛14例、君津10例、習志野9例、市原7例、柏市7例、野田7例、山武1例、夷隅1例だった。

性別は、男性123例(60.0%)、女性82例(40.0%)だった(表)。

年齢群別では、70代45例(22.0%)、5歳未満41例(20.0%)、60代39例(19.0%)、80代33例(16.1%)が多かった(表)。

	2013年14～52週		2014年		2015年1～42週		合計	
	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性別								
男性	32	60.4	41	62.1	50	58.1	123	60.0
女性	21	39.6	25	37.9	36	41.9	82	40.0
年齢群								
5歳未満	18	34.0	11	16.7	12	14.0	41	20.0
5～9歳	1	1.9	0	0.0	1	1.2	2	1.0
10代	1	1.9	0	0.0	2	2.3	3	1.5
20代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30代	3	5.7	2	3.0	7	8.1	12	5.9
40代	1	1.9	4	6.1	4	4.7	9	4.4
50代	3	5.7	6	9.1	5	5.8	14	6.8
60代	8	15.1	16	24.2	15	17.4	39	19.0
70代	10	18.9	14	21.2	21	24.4	45	22.0
80代	8	15.1	11	16.7	14	16.3	33	16.1
90代	0	0.0	2	3.0	5	5.8	7	3.4
合計	53	100.0	66	100.0	86	100.0	205	100.0

診断月別届出数を図に示す。

症状等は、発熱174例(84.9%)、菌血症128例(62.4%)、肺炎85例(41.5%)、咳70例(34.1%)、意識障害52例(25.4%)、髄膜炎36例(17.6%)、全身倦怠感31例(15.1%)、頭痛22例(10.7%)、項部硬直18例(8.8%)、嘔吐17例(8.3%)、痙攣10例(4.9%)、中耳炎7例(3.4%)、大泉門膨隆1例(0.5%)の記載があった(複数報告あり)。

検査方法では、分離・同定による病原体の検出が203例(血液189例、髄液28例)、病原体抗原の検出が26例、検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出が5例(血液3例、髄液2例)あった(複数報告あり)。

図 2013年14週～2015年42週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 診断月別・年齢群別届出数 205例

